

○北杜市高根ふれあい交流ホール条例

平成16年11月1日

条例第103号

(設置)

第1条 芸術文化に関する市民の知識を深め、教養の向上を図り、もって市民文化の発展に寄与するため、ふれあい交流ホールを設置する。

(名称及び位置)

第2条 ふれあい交流ホールの名称、愛称及び位置は、次のとおりとする。

名称 北杜市高根ふれあい交流ホール

愛称 八ヶ岳やまびこホール

位置 北杜市高根町村山北割3315番地

(管理)

第3条 北杜市高根ふれあい交流ホール（以下「ふれあい交流ホール」という。）は、北杜市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(職員)

第4条 ふれあい交流ホールに必要な職員を置くことができる。

(休館日及び開館時間)

第5条 ふれあい交流ホールの休館日及び開館時間は規則で定める。

(検討委員会)

第6条 ふれあい交流ホールの適正な運営を図るため、北杜市ホール運営検討委員会（以下「検討委員会」という。）を置く。

2 検討委員会の組織、任務その他必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(利用の許可)

第7条 ふれあい交流ホールを利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の許可を受けようとする者が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用を許可しない。

(1) その利用が公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。

(2) その利用が長期間にわたる継続利用により、他の利用を妨げるおそれがあるとき。

るとき。

(3) その利用が施設又は設備器具を損傷するおそれがあるとき。

(4) その他管理上支障があるとき。

(利用の制限)

第8条 教育委員会は、公益を害するおそれがあると認めるとき、又は管理上支障があると認めるときは、利用を制限し、又は利用の許可を取り消し、若しくは停止することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用料)

第10条 利用者は、別表に定める使用料を前納しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、利用者は、設備器具を利用する場合は、規則で定める額の使用料を前納しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、官公署にあっては、利用後に納付することができるものとする。

(使用料の減免)

第11条 教育委員会は、前条に規定する使用料については、公益上特に必要があると認めたときは、その使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第12条 既納の使用料は、還付しない。ただし、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(1) 利用者の責めに帰することのできない理由により、利用することができなくなったとき。

(2) 利用者が、別に規則で定める期間内に当該利用許可の取消し又は変更を申し出たとき。

(指定管理者による管理)

第13条 ふれあい交流ホールの管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の

団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりふれあい交流ホールの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条の規定にかかわらず、指定管理者が必要と認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得てふれあい交流ホールの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。

3 第1項の規定によりふれあい交流ホールの管理を指定管理者に行わせる場合は、第7条の規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

（指定管理者の業務）

第14条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- （1） ふれあい交流ホールの利用の許可に関すること。
- （2） ふれあい交流ホールの施設及び設備の維持管理に関すること。
- （3） 前2号に掲げるもののほか、ふれあい交流ホールの運営に関して教育委員会が必要と認める業務

（利用料金）

第15条 第13条第1項の規定によりふれあい交流ホールの管理を指定管理者に行わせる場合は、第10条の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者にふれあい交流ホールの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定めるものとする。この場合において、別表中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

3 第1項の利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

（利用料金の減免等）

第16条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ教育委員会の承認を得て利用料金を減額し、又は免除することができる。

2 既納の利用料金は、還付しない。ただし、第12条各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を還付することができる。

- 3 前項ただし書の規定の適用については、第12条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

(原状回復の義務)

第17条 利用者は、その利用を終わったときは、速やかに利用した施設等を原状に復さなければならない。

- 2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会は、利用者に代わって原状に復すものとする。この場合において、利用者は、原状に復した費用を負担しなければならない。

- 3 前2項の規定は、第8条の規定により利用の許可を取り消し、又は停止した場合について準用する。

(損害賠償の義務)

第18条 利用者は、故意又は過失により施設等を滅失し、又は損傷したときは、教育委員会の指示に従い、速やかにこれを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ないと認めたときは、この限りでない。

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成16年11月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の高根町ふれあい交流ホール設置及び管理に関する条例(平成14年高根町条例第6号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則 (平成24年9月28日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成26年3月10日条例第2号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月27日条例第2号）

この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令和元年7月3日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年12月25日条例第33号）

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

別表（第10条関係）

ふれあい交流ホール使用料

（単位：円）

利用区分 部屋名・曜日区分		午前	午後	夜間	全日
		午前9時から正 午まで	午後1時から午 後5時まで	午後6時から午 後10時まで	午前9時から午 後10時まで
ホール	平日	5,240	7,330	10,480	23,050
	土日・祝祭日	8,380	10,480	15,710	34,570
楽屋1・2	平日	520	730	1,050	2,300
	土日・祝祭日				
大楽屋	平日	1,050	1,470	2,100	4,620
	土日・祝祭日				

備考

- 1 利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収する場合の使用料の額は、設備器具を除き、所定の使用料の額に、次に定める金額を加えた額とする。
 - （1） 入場料等の額（入場料等の額に差があるときは、その最高額。以下同じ。）が500円以上3,000円未満のときは、使用料に100分の50を乗じた額とする。
 - （2） 入場料等の額が3,000円以上のときは、使用料に100分の100を乗じた額とする。
- 2 利用時間がやむを得ない理由によりこの表の区分による時間を超過する場

合の超過時間に対する料金は、その超過時間が午前 9 時以前の場合及び正午以降の場合は午前の金額を、午後 5 時以降の場合は午後の金額を、午後 10 時以降の場合は夜間の金額を時間割りにより徴収する。この場合において、その超過時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを 1 時間とする。ただし、午前と午後又は午後と夜間を引き続き利用する場合の中間時間については、使用料を徴収しない。

3 使用料に 10 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。